

# CHANGE

## 「リニア建設費が1.5兆円も余分にかかる」

### この方がよほど『非常事態』や！！

### 「右向け右の社員管理」の目指すところは何か？！

車両所職場では7月に入って関西支社の車両系統で立て続けに出勤遅延が発生しているとして車両課長名の『非常事態宣言』なる掲示が貼られています。「出勤遅延」は良いことではありませんが、何かというところした掲示を貼って社員にプレッシャーをかける「社員管理」の目指すところは何でしょうか。

支社幹部や現場管理者の「私たちはやっていますアピール」もあるのですが、その前に我が社の行く末や若い社員の将来を案じるべきではないでしょうか。

社員は、新型コロナウイルス禍の状況の中で、感染に怯えながら何ら平素と 変わることなく仕事をし、安全安定輸送を担ってきました。しかし、J R 東海会社はベースアップゼロ、年末手当は安定的支給ベース2.7か月を大幅に下回る2.2か月としてきました。その一方でリニア建設のためには多額の資金を注入しています。会社は4月に「リニア建設費を1.5兆円も増額する」ことを明らかにしました。経営破綻を招きかねないこの問題の方がよほど『非常事態』ではないのでしょうか。

会社は今後も新型コロナウイルス禍の状況の中、不安をあおり、「労働強化・要員削減・コストダウン」を強行してきます。社員の健康や生活設計など全く考えていません。リニア建設費捻出のために「ボーナスの支給額が激減しても文句は言いません」「コスト削減の効率化で作業がキツくなっても文句は言いません」といった社員の意識を作り出すための「手法」のひとつではないでしょうか。

社員の皆さんはどう考えますか。